

開講期	2025年度後期			単位数	2.0単位
科目[授業]名	6109 日本／世界写真史			開講形態（隔週 偶数＝隔週2コマ）	週間授業
種別	なし			定員	
履修可能学年	全学年履修可	重複履修	○	全学開講	○
曜日時限	金曜3限				
教室	J102教室				
代表教員	野々村 文宏				
担当教員	野々村 文宏				
テーマと到達目標	写真家になりたい学生はもちろん、広告や雑誌のデザイナー／アートディレクター、編集者になりたいと思う学生も、世界／日本写真史を押さえておくことで、共同作業のクオリティ（質）のコントロールに役立つだろう。メディア論を修めたい学生にとっても、写真論は勉強しなければならないジャンルだし、今では現代美術の多くが写真を使っているの、美術作家や学芸員を目指す学生にも効く講義である。				
概要	基本的に日本写真史と世界写真史を隔年で交互に扱う。今年度は日本写真史を扱う。時代と地域を見据えつつ、毎回、3～4名の写真家について扱う。その時代の写真芸術の潮流、写真機との関係、メディアとの関係もふくめて考えていく。また、写真についての有名なエッセイ、論考も紹介する。				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員（複数の教員が担当する場合のみ記載）	授業方式
第1回	チョンマゲと日本刀と写真。「写真」が発明されたとき、日本は江戸時代末期だった。				対面授業
第2回	明治期、土産物としての「横浜写真」——人工着色。絵葉書。営業写真館の誕生。				対面授業
第3回	新興写真＝モダニズムの受容——大正期、『光画』。阪神間モダニズム。中山岩太。				対面授業
第4回	ライカの誕生とスナップ写真。木村伊兵衛。都市の記述。				対面授業
第5回	戦争とプロパガンダ（宣伝）と写真。大判雑誌『FRONT』。日本工房、名取洋之助。				対面授業
第6回	敗戦を抱きしめて 報道写真の時代。リアリズム。土門拳。「水俣」ユージン・スミス。				対面授業
第7回	1970年代 コンボラ写真、アレ・ブレ・ボケ 「Provoke」の成果。中平卓馬。				対面授業
第8回	戦後、高度経済成長と広告写真				対面授業
第9回	雑誌の黄金期と写真——著名なアートディレクターとカメラマンのコラボレーション				対面授業
第10回	ふたたび、荒木と森山。世界に評価され始めた日本の現代写真				対面授業
第11回	現代美術としての写真——アメリカに渡った、杉本博司の展開				対面授業
第12回	デジタルカメラ論 2000年代 移行期の日本の写真作家たちと言説				対面授業
第13回	「ポスト・メディウム」とはなにか？ デジタル・ネイティブ きみたちのリアリティ				対面授業
第14回	「ポスト・メディウム」時代の現代日本の作家たち——現代美術からのアプローチ				対面授業
第15回	「日本」の「写真」はこれからどこへ行くのか？ まとめと質疑応答、ディスカッション				対面授業
成績評価の基準	出席を取ります。コメントペーパーを提出。欠席は基本3回まで。最後に、授業で扱った写真家からあなたのベスト5を選んでもらい、合計2000字以上の選んだ理由をレポートに書いてもらいます。				
履修にあたっての留意事項	※リモート授業に移行するときは、配信による同時双方向型授業（zoomと和光ポータルの併用）となる。 第一回自習ぶんの自宅課題学習は、その後の授業中に指示する。 この授業は、実務経験のある教員による授業です。				
オンライン授業方式(同時双方向型・オンデマンド型)の詳細					
【種別】人数制限（抽選）授業の優先条件					

◆教科書・教材

教科書以外に必要な教材費用			
教科書	島原学『日本写真史 上 - 幕末維新から高度成長期まで』中公新書	教科書(ISBN)	
参考文献	名取洋之助『写真の読み方』岩波新書 土門拳『写真論集』ちくま学芸文庫 中平卓馬『なぜ、植物図鑑か』ちくま学芸文庫 ほか、多数。授業の前後で紹介する。	参考文献(ISBN)	